

2. 火山の概況 (平成 15 年 5 月 1 日 ~ 平成 15 年 5 月 7 日)

浅間山では微動があった。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の温度が高い状態が継続した。諏訪之瀬島では噴火があった。

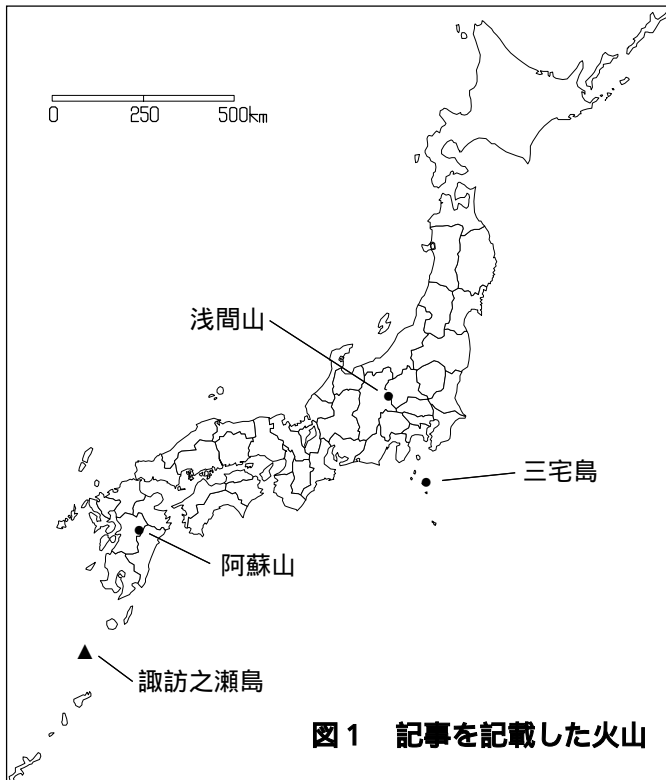


表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	浅間山	三宅島	八丈島	阿蘇山	霧島山	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
19	5/ 1- 5/ 7			●	●		●					▲
18	4/24- 4/30		●		●	●				▲		▲
17	4/17- 4/23			▲	●		●		●		●	▲
16	4/10- 4/16	●		●	●		●			▲		▲
15	4/ 3- 4/ 9			▲	●		●	●	▲			●

注 1 記号の意味

- ▲ : 噴火した火山
- : 観測データ等に変化があった火山
- : 前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [微動]

振幅の小さい微動が、4日に1回、5日に3回、6日に2回、合計6回発生した。このうち、5日の1回を除く5回の微動は、2月6日以降のごく小規模な噴火に伴い発生した微動に類似していたが、火山灰を含む噴煙の噴出はなく、その他の観測データにも変化はみられなかった。

白色噴煙の放出は継続しており、最高は火口縁上 300m (2、3、5日)であった。

地震回数は、1日当たり 9 ~ 27 回で、これまでと比べ特段の変化はみられなかった。

群馬県林務部設置の高感度カメラ及び赤外カメラによる火口内の観測では、火口底が明るくなる様子が今期間も引き続き観測された。

GPS 及び傾斜計による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

● 三宅島 [火山ガス・熱・噴煙・地震]

1日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量約 7,000 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図 2)。

また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、主火口からの白色噴煙の放出が継続し、火山ガスを含む青白い噴煙が火口上空から南西へ流れていた。山体の地形や火口の状況等に大きな変化はなかった。赤外熱映像装置による観測では、火口内の最高温度は 336 °C であった(前回(4月23日) 192 °C)。

監視カメラによる観測では、白色噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口縁上 1,000m (3日)であった(前期間 500m)。

期間中、規模の大きな低周波地震は発生しなかった。6日 19 時台に、やや低周波の地震が一時的に増加して 15 回発生し、一日の合計は 36 回となったが、噴煙の状況等その他の観測データに変化はなく、またそれ以外の日の地震活動は平穏な状態であった。

GPS による地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は昨年夏頃からわずかな膨張に

転じており、今期間もその傾向が継続した。

1) 警視庁の協力による

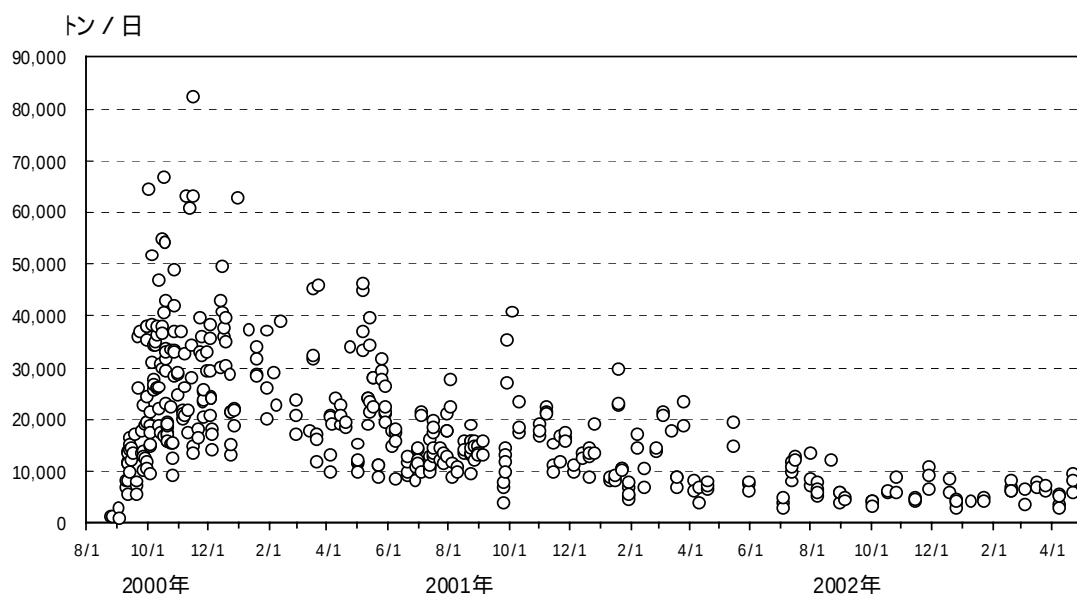


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量(2000年8月26日～2003年5月1日)

● 阿蘇山 [熱]

2日に実施した中岳第一火口の観測では、火口内は依然として全面が湯だまり状態、湯の色は緑色で、大きな変化はみられない。赤外放射温度計による南側火口壁の最高温度は500（前回(22日)501）と依然高い状態であった。火口内の湯だまり¹⁾の最高温度は64（前回(22日)64）で、やや高くなる傾向がみられる。

白色噴煙は連続的に噴出しており、最高は火口縁上400m（4、5日）で、大きな変化はなかった（前期間300m）。

孤立型微動及び地震の発生回数は少ない状態が続いた（以上図3）。

- 1) 湯だまり：活動静穏期の中岳第一火口内には、地下水などを起源とする約50～60の緑色のお湯が溜まっている（湯だまり）。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少がみられ、その過程で土砂を吹き上げる土砂噴現象等が起こり始めることが知られている。

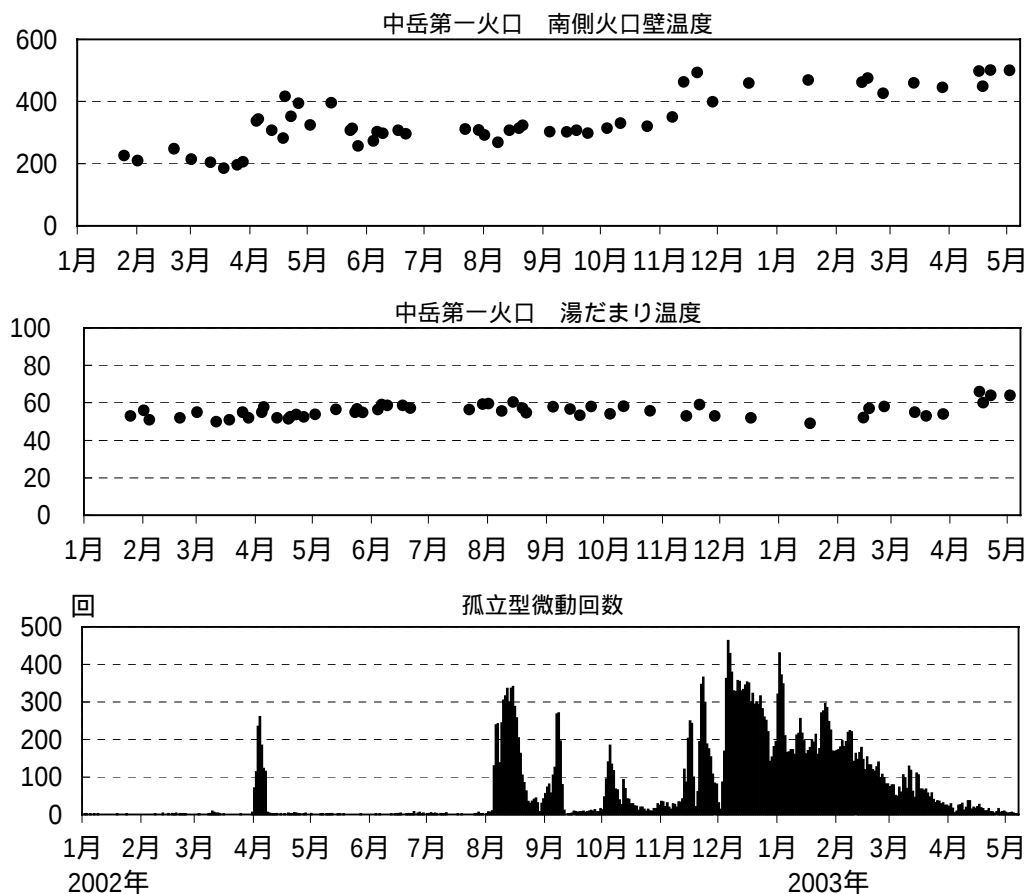


図3 阿蘇山 (上) 中岳第一火口の南側火口壁温度
(中) 中岳第一火口の湯だまり温度
(下) 孤立型微動の日回数
(2002年1月1日～2003年5月7日)

▲ 諏訪之瀬島 [爆発・微動]

1日に爆発が1回発生した(前期間5回)。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落(御岳の南南西約4km)では降灰は確認されなかった。

期間中、継続時間の長い微動がたびたび発生しており、火山活動はやや活発な状態となっている。

表2 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第237号	1日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)
	↓(1日2回発表) 火山観測情報第250号	↓ 7日 16:30	